

「読み解く力」

各学校での実践へ!

県内の公立学校では、子どもたちの「学ぶ力」向上に向けて、「読み解く力」の育成に重点をおいた取組を進めています。昨年度は、授業づくりに関わる研修や研究に取り組み、その成果や取組方法などを県内の教員と共有しました。今年度は、「読み解く力」の視点を踏まえた授業を一層進めていきます。



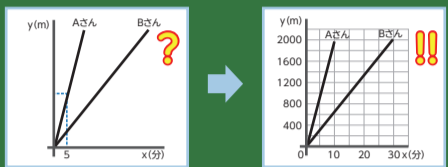
「読み解く力」3つのプロセス

必要な情報を確かに取り出す

情報を比較し、関連付けて整理する

自分なりに解決し、知識を再構築する

問題1：学校から東に向かって出発したAさんとBさんが5分後に離れている距離を求めなさい。



問題を解決するために必要な情報について考えます。

「5分後のAさん、Bさんが、どこにいるかをグラフから読み取ればいんだね。」

「でも、このグラフ(左側)では目盛りがないからよくわからないね。」

「時間と距離の数値が必要だね。」



中学校1年生 数学科

子ども一人ひとりが情報をもとに、考えたことを友達と話し合いながら比べたり、整理したりします。



教員は、子どもたちの学びが深まるようにわかりやすく板書したり、ポイントを絞って発問したりします。

小学校3年生 国語科



友達の意見を聞いて、もよもよしていた自分の考えがまとまりました。

話し合いを通して学んだことを生かして、自分の考えをもう一度見直し、まとめます。

小学校3年生 国語科

問題の状況をグラフや式と関連付けて考えると…

練習問題に取り組み、授業で学んだことを他の場面で活用できるようにします。



中学校1年生 数学科

昨年度の研究より (教員の声)



「読み解く力」を意識して、子どもたちが「取り組みたい」と思う課題を設定したり、グループ学習を効果的に位置付けたりすることで、子どもたち自身が成長を実感することができました。



子どもたちが学習に対する目的意識をもつことで、必要な情報を取り出すために真剣に教材と向きあい、自分の考えを深めることができました。



一人では難しかった課題を、友達とのやりとりを通して解決する経験を繰り返すことで、学習後の振り返りに「自分たちで学習をつくっている」という言葉が見られるようになりました。

問合せ先 幼小中教育課 ☎077-528-4662

幼児教育 幼児期は、「生きる力」の基礎を育てる重要な時期です。

ことばがつなぐ

子どものつぶやきは心の原石

1つの時は 何もかも初めてだった 2つの時は 僕はまるっきり新米だった
3つの時は 僕はやっと僕になった 4つの時は 僕は大きくなりたかった
5つの時は 何から何まで面白かった 今は6つで
僕はありっただけ お利口です だから いつまでも 6つで居たいと思います
A. A. ミルン 『くまのプーさんとぼく』より

五感で生きる1歳、自我の芽生えと充実の2歳3歳、挑戦の4歳、満足の5歳、そして思考と創造に満ちた6歳という成長の道筋が見えます。

★おねしょをした朝、あーあ、いっぱい汗かいたやつた。(3歳女児)

★給食まだ食べてはるけど「おそいなー」っていったらあかんよ。だって今日うちちゃんコンコンしてはるからな。(4歳男児)

★結婚式のフロー子を銀杏の葉っぱで作っている。誰と結婚するの？今はSちゃん大きくなったらRせんせい！(5歳男児)



あのね、パパ

入園入学を迎えたご家庭で読んであげて欲しい絵本

ゆるぎない親子の信頼関係を心の基地に、外の世界に目を向ける1歳から3歳。もう一人の自分と心で対話をはじめる4歳から6歳。新しいステージに踏み出すお子さんから、真剣に話しを聞き、子どもの気持ちに寄り添った言葉がけをしてあげましょう。それが自信と意欲の原動力となります。



…おおきくなるっていいことは おもしろいことが
どんどんみつけれられるってこと…

おおきくなるっていいことは

文：中川 ひろたか
絵：村上 康成
発行所：(株)童心社



問合せ先 子ども・青少年局 ☎077-528-3553

高等学校特別支援教育推進事業

障害等により学びにくさのある生徒が、安心・安全に、充実した学校生活を送れるように、様々な取組を行っています。

高等学校への特別支援教育支援員の配置

肢体不自由や発達障害等のある生徒が通う学校では、特に支援が必要な生徒を支援員がサポートしています。

支援員は、教室移動時の支援や授業に集中できない生徒への言葉がけなどの学習支援等、生徒の障害特性に応じた支援を行っています。また、体育祭等の学校行事において、集団活動に入りづらい生徒への言葉がけや見守りによる支援も行っています。



高等学校への特別支援教育巡回指導員の派遣

発達障害等の生徒を支援できるように、特別支援教育の経験豊富な指導員を派遣し、教員の指導力向上や、個別的教育支援計画等の作成や活用の促進に取り組んでいます。



指導員が生徒に関わる教員の理解促進と、支援や指導方法のスキルアップを目指した指導や助言を行うことで、学校からは、「支援を必要とする生徒に対する指導方法が整理できた」、「指導員によるアドバイスのおかげで、関係機関との連携が進んだ」などの声を聞いています。

個別的教育支援計画とは…

障害のある幼児児童生徒一人ひとりの状況を正確に把握し、乳幼児期から学校卒業までの確で継続した支援を行うために作成します。本計画は、教育だけでなく、福祉や医療、労働等、幼児児童生徒に関わる様々な機関と連携して作成します。



問合せ先 特別支援教育課 ☎077-528-4643